

勤勞家庭の幼児の保育

東京府社會課 朝原梅 一

どんな貧しい家庭の幼児にも月日は同じ様に過ぎ去り、長い楽しい保育時代も終了を告げまして、小學校に入學することになり、これに引き換へに、託児所には新しい、また家庭では共同生活をやる様に訓練されて居ない、幼い幼児達が入所して参ります。こうして託児所に来るのは楽しい生活に入るのではありますが、また一面から考へますと、父母の膝下で自由自在に我儘を通して、お小使錢の如きも、一日幾度も一錢、一錢とせびつて、だゞをこねては母を困らせ、而も、不衛生的なもので、功妙な賣手の言葉と、色彩の美しさにつられて、不規則な買ひ食ひをしたものが遽に、規律のある託児所の生活に入つて、何から何まで指圖されるのでありますから、幼児に對しては相當に苦痛なまた、窮屈なことであらふと思はれます。こうした幼児の氣分を充分に考慮してやりますと、初日から終日保育と云ふことは可哀そうで出来ない相談と思はれますので、これを緩和するために初日は、おやつも午前一度、與へまして、數日は午前中一、二時間で歸宅させ、段々に保育の時間を引き延ばして、數日を経て三時頃に午後のおやつを與へなきて、終日保育に慣して行くことにすることが、こうした子供達の保育に適した方法であると思ひます。

一、保育衛生の躰け方

さて新入の幼児は何は置いても注意しなければならぬことは衛生的な躰けであります。幼稚園の保育には園醫令があつて一應規定してありますが、託児所にはこれがありませんから、經營者の頭一つで衛生問題を考へなければなりません。その(一)は衣類でありまして、母親の手の廻らぬ幼児になりますと、随分汚れた衣類もあります。これを清潔にする様に

母親を指導してやらなければなりません。そして幼児に依りましては、時節はづれの着物を使用して居るものもあり、それがやつこ寒さを凌ぐ位なものもある様であります。従つて、パンツなどもなければ、足袋もない、上草履もない幼児が澤山居りますから、この子供等にも他の子供共略ぼ同様な服装が出来る様に骨を折つてやらなければなりません。それから頭髪の整理をしてやるか、食事時にはお手を洗はせるか、鼻水の出をかませるか、顔を洗はせるか、總て衛生上必要な賡けを加へなければなりません。

二、自由に遊ばせる設備

勤勞の家庭は大概家が小さいから、幼児等は自由に飛んだり跳ねたりして遊ぶ習慣をつけられて居りません。飛んだり跳ねたりすることは、戸外に於てのみであります。託児所に参りますと、室内で自由に騒いで遊ぶことが出来るし、總て延びんとして遊べるのは楽しい出来事の一つであります。それに唯廣々とした所で遊ぶばかりでなく、時には遊び道具を以て仲間と共に遊ぶことが出来ますから、これを色々を使用して楽しさを感じる様であります。これは嘗て私の關係した託児所での経験であります。ヒル氏の積木を作つて與へましたが、その最初の遊びに使用したのは板並べ的に並べまして、夏でありましたから、その上に毛布を敷いて二三人がごろごろ寝るのに使用いたしました。言葉を換へて申しますと、積木の平面的使用でも申して好いと思ひます。その後、尾久町は荒川に副ふて居りまして、ボートの競技が始まるので、盛にその練習をされて居る學生などを見た幼児達は、長椅子を二個並べて、それに積木を横にしてボートの形を致しまして、横にした積木に腰をかけ、各々また他の積木一本をオールの如く使用して、ボート漕ぎを真似た遊びを始め、毎日楽しく同じこを繰り返して遊んで居りましたが、その年の秋頃になりますと、やつこ家を作つてその中に一人すはつて、お地藏様の様な遊びをして居りました。その時に私どもは幼児に遊び道具を與へて置けば種々な遊びに之を進展させて、平面から立體に、靜から動に活用して行くものだ云ふことを知るこが出来ました。

三、多種の備品の必要

幼児を楽しく遊ばせるために經濟が許すなら、勤勞家庭の幼児を保育するためには種々な遊具を與へるが必要であることは多く論ずる必要はないと思ひます。種々設備品を使用して遊ぶことは、遊ぶにも楽しいことですが、また一方には貧しい家庭には、器物の数が極めて僅少でありますために、物の名稱を知ることがすくなく、その利用も知らないことが多いのでありますが、中流以上の家庭の幼児が何等の心配もなく種々な物品を使用して、その名稱を覺へて居りますから、こうした二種の幼ない子供が小學校の兒童になつても、同じ年齢の兒童であり乍ら、多くの言葉と、その内容を理解する點に置きまして、非常に相違のあることは明に觀察することが出来ると思ひます。それでありますから、理想的に申しますと、少なくとも、小學校の教科書にある物品は何としかしてこれを容易に知ることの出来る程度に託兒所の設備なきをしてやることは必要なことでありましてこうすることが本當に知識供給の均等を計ることであり、家庭教育の補ひとなる事と思はれます。

四、間食の整理としての保育

幼児の時代には家に居りさへすれば何か食べ物を求めるは自然であります。そうした食慾をそのままにして置くことは、許されないことで、段々に間食の度數を減じて行かなければなりません。その最も自然的な整理の方法は、慾望の轉換であります。慾望を満足させやうとするのを、これを無理に禁止することは慾望の盛な時代の幼児に對して最も慘酷なことであります。これを自然的に易々轉換させるためには、甲の慾望に換へるに乙の慾望を満足させて甲を忘れさせる方法に依らなければなりません。即ちぼんやりまして居れば食物が愆しくなる時間に、楽しく遊戯をさせるか、面白いお話を聞かせて貰ふか、折紙をするか、云ふ様な遊びに依りまして食慾を忘れて遊ぶか云ふ所に最も自然的な慾望の

轉換が行はれることになるのであります。でありますから、託児所に於て、楽しく保育されることのために、(1)自由な買ひ食ひの癖から、回数を減する様になり、(2)品質の選擇をなす様になり、(3)また街頭で販賣して居るものに不衛生的なものがあることを教へられて、衛生的なものを選ぶ様になつて來るのであります。序に申上げます、彼等幼児の中には不幸にも、晝食が著しく、不良であるとか、榮養價のないものであるとか、またはこれを持參しないものがあるとか云ふやうなことを認められました際には、これに適した榮養食をも給與されなければなりません。

五、簡易治療の實施

本當に託児所に來る資格のある様に思はれる多くの幼児を見ます、先づ(1)眼につくものは眼疾であります。眼が赤く血膜炎を起して、眼やにを出し、甚だしいのはトラホームにかゝつて居るのを放つて居るものもあり、このまゝでなければ失眼するやうなものもあります、こうした眼疾をなんとか治療に取りかゝらなければすまない云ふ状態のものもあります。(2)ある幼児は慢性の中耳炎になつて、絶え間なく、膿の流出して居るものもあり、(3)また慢性の鼻カタルを起して、鼻水ばかり流して居るものもあれば、(4)濕疹が出て見るからに氣持の悪い様なものもあれば、(5)顔面蒼白になつて、蛔蟲か十二指腸に冒されて居る様なものもある様であります、是等を小兒科の醫師にかけて、何ミか手を下さなければ放つて置けない云ふ状態のものも相當見受けられますから、こうした幼児に醫師の指導によりまして簡易治療を加へる云ふことは、勤勞家庭の幼児の保育としてなさねばならぬ保育の一つであります。

六、母の會の使命

勤勞家庭の幼児の保育の眞の目的は、託児所に於て保育するだけではその責任を充分果たすことが出来ません。幸にも勤勞家庭のお母さんは必ず幼児を託するために託児所に朝夕通ひますから、保母はこうした機會を逸しない様に、母ミ密接

なる關係を生じて、(1)短い時間の間に於ても、能く母親の心をこらへて、家庭に於ける幼児の保育に對する指導を與へなければなりません。(2)多くの家庭の人達は幼児の生活に於て最も必要な本能の發動の如きも、成人の理想から考へて、これを抑壓しやうとする傾向がありますが、こうした幼児の本能的な活動にも、好くこれを觀察いたしますと、寧ろ助長しなければならぬ行動も澤山あるのでありますから、これを母親に好く理解せしめて、無暗に叱つて之を禁止しない様に指示しなければなりません。(3)父母ともに就勞する家庭では幼児の身の廻りに就きましても不行届き勝ちではあります、これを何から何迄、託兒所の保姆が面倒を見てやること云ふことが必ずしも上策ではありません。(4)家庭の人達に適した注意を與へまして、母親が自らこれを行ふやうになればこれに越したことはありません。こうした自治生活をさせるためには、(5)常に母の會に出席せしめて、母親の訓練を行はなければなりません。(6)その訓練には宗教心の涵養、實踐道德的訓練、貯蓄の實際的勵行、育兒衛生上の知識の獲得、美しい社交性の修得、等の内容を充實しなければなりません。

七、隣保の生活向上へ

以上述べました様に勤勞家庭の幼児並に母親の教育を行はふにいたしますのが託兒所保育の特色でありまして、こうした母ミ子供に對する生活指導が、行きこゝきますと、この人達の生活は近隣の生活者へ及ぶ影響が著しい力を持つて居りますから、次から次へに、傳播して、遂にその附近の人々の家庭の生活を向上させることになるのであります。此點から考へまして、此節託兒所の母の會等に、遠方から多くの車代を費して舞踊等のために出演される様なこともありまして誠に結構ではあるが、今一つ私の希望を申しますれば、附近の人達が集つて、少しはまづくても、共同して餘興が演ぜられるなら近隣のものがお互に識り會つて、面白く社交が出来て、共に向上發展しやうとするものゝためにぎんにか有効であらふと思ひます。今後の母の會の發展もこの様に指導して行きたいものであります。(昭和八、三、十八日)